



あおむけになって川流れを体験する園児たち

帯広幼稚園(帯広市西21南3)の園児たちが12日、伏古橋上流の帯広川で川遊びを楽しんだ。地域住民らが見守る中、園児たちは魚や水生昆虫の観察と川に流れる体験に歓声を上げた。  
ほしくみの園児31人が参加。ライフジャケットを着て川に入った。川に生息するウグイやヤツメウナギ、ウチダザリガニを網で捕まえては笑

## 流れ乗り子供たち歓声

### 帯広幼稚園、帯広川で川遊び

帯広幼稚園(帯広市西21南3)の園児たちが12日、伏古橋上流の帯広川で川遊びを楽しんだ。

地域住民らが見守る中、園児たちは魚や水生昆虫の観察と川に流れる体験に歓声を上げた。

あおむけになって川を流れる体験をした大川晃輝ちゃん(5)は「冷たくて気持ちよかった。川は思ったほど怖くない」と川遊びを楽しんだ様子だった。  
川遊びの楽しさを知ってもらおうと「帯広川伏古地区子どもの水辺協議会」(関川三男会長)と管内の建設業者で組織する「十勝多自然ネッ

ト」(西江靖幸理事長)が主催した。(深津慶太)

## 水中生物の豊かさに驚く

### 市民大学講座 帯広川探訪

市民大学講座学習プラザ「帯広川探訪」(帯広川伏古地区子どもの水辺協議会、アークコーポレーション主催)が1日、西十号会館(帯広市西21南2)と帯広川で開かれ、26人が水中生物の採集を楽しんだ。



多彩な水中生物に驚く参加者

市民提案型まちづくり支援事業の助成を受け実施。同協議会の関川三男会長が「身近に存在する豊かな帯広川や自然に気付き、地域に誇りと愛着を持ってほしい」とあいさ

つ。環境カウンセラーの駒込幸雄さんと澤田元副会長が水環境の現状と帯広川の水質について解説した。

続いて帯広川へ移動し、水質の指標となる生物の採取などをした。わずか20分程度の採取で、カゲロウ、ヤツメ、ドジョウ、ザリガニなどを捕獲。参加した大人も子供のように目を輝かせていた。柏谷チエ子さんは「近くの川が、このように多様な生き物で彩られているのに驚いた。子供の頃を思い出し、これから散歩コースに河畔を加えたい」と笑顔だった。